

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ヌクレオチド除去修復におけるゲノムDNA損傷認識の高次制御機構の 解明
研究代表者	菅澤 薫 (神戸大学・バイオシグナル総合研究センター・教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>ヒストン構造をとった染色体 DNA に対するヌクレオチド除去修復機構を精査し、DNA 損傷認識に関わる蛋白質 (XPC、DDB2) と相互作用する新規な因子の同定及びその作用機構解明を目指している。また、DNA 損傷認識の過程を阻害する低分子化合物等の簡便な探索システムの開発を計画している。DNA 損傷認識を阻害することにより間接的に DNA 変異を促進する化学物質の探索は、エピジェネティックな発がん機構の解明につながると予想され、医学への貢献も期待できる。紫外線損傷をモデルとした生化学研究であるため、自然環境と人間との相互作用を主たる研究対象とする環境学としての波及効果に不明な点もあるが、応募者の実績から今後の発展・波及が期待できるものと考え、基盤研究(S)として採択すべき課題であると判断した。</p>